

分析機器部門講習会シリーズ

GENEWIZ の新サービス
超高解像度空間的遺伝子発現解析“Stereo-seq”

空間的遺伝子発現解析は、組織における細胞の位置情報を保持したまま遺伝子発現プロファイルを取得することができる画期的な技術です。その中でも Stereo-seq は、220 nm 径の DNB (DNA ナノボール) をスライド上に超高密度に配置しているのが特徴で、現在最も解像度が高い手法の一つです。様々な生物種で網羅的にかつ定量的に mRNA を観察できるため、個体発生から疾患研究まで幅広く利用されています。これまで誰も見たことのない、組織の微小環境における遺伝子発現動態を観察することで研究に大きな進展をもたらすことが期待できます。

*** 本講習会では、分析機器部門に未導入の機器・技術について紹介します。**

【日 時】 2024 年 8 月 7 日 (水) 13:30~14:30

【対 象】 ・組織微小環境の遺伝子発現プロファイルを解析したい方
・より高解像度で空間的解析を行いたい方

【講習内容】 GENEWIZ マルチオミクス&遺伝子合成ソリューション from アゼンタは、現時点で最も解像度の高い空間的遺伝子発現解析手法の一つである「Stereo-seq」の受託サービスを提供しています。これを実現する STOmics 技術は、DNB (DNA NanoBall) をベースにしており、1 cm x 1 cm の区画に、直径 220 nm の DNB が 500 nm ピッチの高密度で配置されています。本講習会では、その技術とワークフロー、弊社検証結果を紹介し、実際のサンプル調製とご提出の方法をご説明いたします。

【演 者】 アゼンタ株式会社 マルチオミクス&遺伝子合成ソリューション
次世代シーケンシング シニアマネージャー 秋山 康一

【開催方法】 医系研究棟 3 号館 4 階 実習室

【定 員】 15 名

【申込期限】 2024 年 8 月 6 日 (火) 17:00 まで

【申込方法】 下記記載の URL からお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/D9gm6z44mH>

お問合せ先

医学教育研究支援センター分析機器部門

担当： 伊藤 / 丸井

内線： 2403 / 5779

Email： yitoh[at]med.nagoya-u.ac.jp / mmarui199469[at]med.nagoya-u.ac.jp

(送信の際は[at]を@に変えてください)



申込時にいただいた個人情報は、「東海国立大学機構個人情報保護規程」に基づき適切に管理いたします。詳しくは、ホームページをご参照ください。 <https://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/objectives/protection/index.html>